

ご声援ありがとうございました。

64 回生チームの活動は、先日、加古川河川敷球技場で行われた県総体で終了しました。

ごあいさつ

春季大会では、1 回戦、2 回戦とも楽な試合ではありませんでしたが、一人ひとりがプレーの中で自分の力を出し切り、あきらめずに粘ったことで勝つことができました。大会までの地道な練習の成果がはっきり出た試合だったと思います。3 回戦では、相手チームのバッティングの小技に振り回され、力不足だと改めて感じ、焦りもでしたが、県総体へ向けてチームの気持ちを引き締めることができたと思います。

県総体では、とても悔しい思いをしましたが、全員が強く団結し、つなげるプレーをできた試合だったと思います。最後の試合で、一球一球の重みを感じながら緊迫した雰囲気の中でプレーできたことをうれしく思います。応援ありがとうございました。

(64 回生主将 東一 和佐)

春季東播総体

1 回戦 対 明石南高校 (4 月 24 日 明石商業 G)

	1	2	3	4	5	6	7	計
明石南	0	0	0	0	0	0	0	0
小 野	0	0	0	0	0	1	×	1

【評】明石南は、昨秋の県大会新人戦に出場し、今大会のシード校です。少ない部員数ながらよく鍛えられ、まとまりのある好チームです。初回からほとんどチャンスらしいチャンスもなく終盤を迎えました。6 回 1 死から 1 番田中(千)が遊ゴロ敵失で 2 塁へ進み、2 死後 3 番竹内の左中間安打で 2 塁から田中が生還しました。結局これが決勝点となりました。守っては投手伊藤が相手打線を 2 安打に抑える好投でした。守備でも要所で好プレーがみられ、小野高としてはベストな試合運びができたと思います。

2 回戦 対 高砂高校 (4 月 25 日 明石城西 G)

	1	2	3	4	5	6	7	計
高 砂	0	0	0	1	0	0	0	1
小 野	0	0	0	0	0	1	1×	2

【評】高砂高校も、昨秋の県大会新人戦に出場しベスト 16 に進出しました。特に能力の高い選手が目立ち、打撃力に優れたチームです。試合でも初回から積極的なスイングで毎回のように安打を許しました。ただ投手伊藤がその後の打者を抑え、連打を許さなかったのが終盤の逆転につながったと思います。4 回は、安打に盗塁を絡められ、その後内野安打で先取点を許しました。終盤を迎えた 6 回、先頭の 9 番河合に右中間を破る 3 塁打が出ました。2 死後、3 番竹内の右前ヒットで河合が生還し、やっと同点に持ち込みました。最終回、1 死後 6 番難波が右中間 2 塁打を放ち、2 死後 DP 木村がしぶとく中前安打、2 塁から難波が滑り込んでサヨナラゲームとなりました。公式戦でのサヨナラゲームは初めてで、ゲーム内容も緊迫していたため試合後の選手の喜びようは最高でした。

3 回戦 対 社高校 (4 月 25 日 明石城西 G)

	1	2	3	4	5	6	7	計
社	3	7	0	1	5			16
小 野	0	0	0	0	0			0

【評】社高校は結果的にこの大会で優勝を飾りました。昨秋の県大会新人戦でも強豪神戸野田高に勝つなど非常にレベルの高いチームです。伊藤、横山のバッテリーも工夫した配球をしましたが、相手打線が 1 枚も 2 枚も上でした。また、社の主戦投手もスピード、コントロールとも抜群で、2 番手投手と合わせて散發の 3 安打に抑えられました。小野高としては 2 年生が多く、この敗戦を是非とも糧にしたいものです。

県総体

1 回戦 対 神戸商業高校 (5月31日 加古川河川敷 G)

	1	2	3	4	5	6	7	計
小野	0	0	3	0	0	0	0	3
神戸商業	0	0	0	4	0	0	×	4

【評】神戸商業も、昨秋の県大会新人戦に出場しベスト 16 に進出したチームです。初回から押し気味に試合を進め、3 回には2 四球に内野安打を絡め、満塁から 6 番難波の走者一掃の右中間 2 塁打が出て 3 点を先取しました。3 回まで安定した守備でしたが、4 回 2 死 1 塁から四球、安打にエラー 2 個が絡み逆転を許しました。その後相手投手の四球などを足がかりに好機を作り、安打も放ちましたが、要所で相手遊撃手の好守にはばまれました。最終回も 1 死満塁まで詰めよりましたが、DP 市場のライナーがショートの前を突くなど運もなかったと思います。終わってみれば、12 残塁と非常に心残りの試合でした。



ごあいさつ

新チームになった今、私たちが掲げるスローガンは『革命 (Revolution)』です。昨年は「それぞれの向かっている方向がばらばら」と言われたこともあり、チームの目標を選手全員が理解できていなかったように思います。今年は、具体的に目標を決め、必ずその目標を達成する、と部員全員が覚悟を決めたことから新チームが始まりました。

新チームが始まってわずか数日、今の私たちに必要なものは、「基礎力」です。練習に基本メニューを取り入れるのはもちろんのこと、生活面でも基礎の徹底を図ります。挨拶の励行、時間厳守、素早い行動など、プレー以前のことをどれだけ確実にできるかで、チームのカラーは変わってくると思います。学校の先生方や他チームの監督の先生、多くの人達から「小野高のソフト部は変わった」と言わせるのが、私たちの目標です。具体的な目標は「県ベスト 8」。幸い 2 年生は、昨年のチームでもレギュラー選手が多く、他チームと比べても経験は積んでいます。それを生かし、日々の練習に怠ることなく全力で取り組んでいけば、「県ベスト 8」は、決して無理な目標ではないと思います。

小野高ソフト部新チームはまだ走り出したばかり。全員が同じ夢をもち、その夢を忘れることなく毎日の練習に励み、必ず「県ベスト 8」を成し遂げます。小野高ソフト部が革命を起こします！是非ご声援よろしくお願いたします。

(65 回生主将 竹内 美咲)

県総体の風景

